

新年のあいさつ

質の高い社会資本整備の推進に向けて

岩手県県土整備部長

橋本 義春



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年を迎え、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、三位一体改革による国と地方のあり方の見直しの中で、地方交付税が大幅に減額されたことにより財政状況が一層厳しくなり、また一方では、集中豪雨や台風、地震による全国、全世界的に発生している災害等を教訓に、自然災害から県民の生命財産を守り、安全・安心な生活を確保する施策をハード・ソフト両面で重点的に推進していくことが急務となった年でもありました。

このような中で、三陸縦貫自動車道「大船渡三陸道路」が3月に供用され、また砂鉄川緊急治水対策事業の国直轄区間が概ね完成するとともに、木造耐震診断支援事業を導入するなど、災害に強い安全で安心な県土づくりを進めてまいりました。さらには、花巻空港滑走路を2,500㍍に延伸する工事が3月に完成したところであります、一層の知名度向上や利用拡大を目指して愛称を「いわて花巻空港」と決定し、7月には累積利用者数が1,000万人を達成するなど、さらなる地域経済の活性化が期待されています。

人口減少、少子・高齢時代に伴う歳入減少による公共投資の縮小、既存社会資本ストックの老朽化による維持管理費の増大など、公共事業を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にあります。今後も、県民生活や地域経済を支える観点から重要な役割を担っている社会資本整備を着実に進めるために、限られた予算の中で、投資効果が最大限発揮できるよう、これまで以上に「選択」と「集中」による重点化を図り、安全で安心な地域づくりの実現や産業振興に資する社会資本を最優先で整備してまいります。

また、昨年に引き続き、既存ストックの有効活用や計画的な維持管理の実施、自然環境への配慮、建設業の経営体質強化支援などに努めるとともに、効率的で効果的な社会資本サービスを提供するため、住民、NPO、企業等の多様な主体との連携・協働を積極的に進め、住民主体の地域づくりを促進するなど、質の高い社会資本の整備を積極的に推進してまいりたいと考えております。

今年も、皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

1月
主要行事

<p>● 北上地区建設産業団体合同新年交賀会</p> <p>● まちづくり意見交換会</p>	<p>● 磐井川堤防改修に関する懇談会</p> <p>● 測量設計業との意見交換会</p> <p>● ダム技術研究発表会</p>	<p>● 内外情勢調査会支部懇談会</p> <p>● 大船渡港埠頭保安訓練</p> <p>● 工事現場パトロール</p>
<p>● 期日 1月11日(水)</p> <p>● 時間 17時30分～19時</p> <p>● 場所 ホテルニューケーブル北上</p> <p>● 担当 北上地方振興局土木部</p>	<p>● 期日 1月16日(月)</p> <p>● 時間 13時30分～15時30分</p> <p>● 場所 ベリーノホテル一関</p> <p>● 担当 一関地方振興局土木部</p>	<p>● 期日 1月20日(金)</p> <p>● 時間 12時～13時30分</p> <p>● 場所 一関市内</p> <p>● 担当 一関地方振興局土木部</p>